

令和8年度 花ノ木小学校の教育

【経営理念】 学校は、幸せになるための場所である

「幸せになるための場所」には、二つの意味がある。「今、楽しいと思える場所」、そして、「卒業後、充実した人生を過ごせるように力をつける場所」。

「今の幸せ」と「未来の幸せ」のために、学校・家庭・地域がつながり、子供たちの成長を共に喜び合いたい。



校長 杉本 春美

【経営方針】 子供の笑顔を第一に考え、誰一人取り残さない教育を進めます

- 笑顔と対話を大切にし、やりがいとつながりのある職場づくりに努めます。
- 学校・家庭・地域をつなぎ、地域ぐるみで児童の健全育成に取り組みます。
- 子供たちへよりよい教育を行うために、働き方改革を積極的に進めます。

【教育目標】

校訓「明るく 仲よく 力いっぱい」のもと、知・徳・体のバランスのとれた健全な児童の育成を目指し、『心豊かで、元気な花ノ木っ子』を育てる

- めざす学校像 笑顔あふれる「幸せ」な学校
- めざす子供像 心豊かで元気な 花ノ木っ子
- めざす教師像 笑顔とやる気で切磋琢磨する教師集団

【重点努力目標】 「新たな能力を取り込む力」と「忍耐力（心幹）」を鍛える

1 生活習慣 ～地域の「ひと・もの・こと」を活用した^{けんこう}健幸教育～

「健幸」とは「健康」と「幸せ」の造語。子供たちには、健康で生き生きと学校生活を送ってほしい。学校・家庭・地域と連携し、生活習慣、体力づくり、食育、防災教育などを進めます。

◆挑戦①…「早寝・早起き・朝ごはん」→ 元気に過ごす

2 正しい言動 ～子供の主体性を大切にした学校・学級での活動～

あいさつ、整理整頓、廊下の歩き方など、当たり前のことを当たり前にできるようになってほしい。子供たちの主体性を大切にした児童会や委員会の活動、学級での係活動などを充実させます。

◆挑戦②…「もくもく・すみずみ・ピカピカ清掃」→ 一生懸命そうじをする

3 楽しくて力のつく授業 ～教師の授業力向上を目指す取組～

「やってみたい」、「こう考えればいいのか」、「えっ、どういうこと？ こんな考えもあるんだ」、「わかった、できた」・・・、子供たちの学ぶ力を育みたい。授業の参加を高める手立てを講じていきます。

◆挑戦③…「聞く・考える・話す」→ 自分の考えを堂々と発表する

今年度のテーマは、「挑戦」（一生懸命がんばって 一歩前に進もう）